



写真：アオノツガザクラ
(羅臼町)

も り

北の森林 国有林

今月のトピック

- ・新「上」^{かみ}局長 着任あいさつ
- ・「新しい林業」の展開に向けた取組



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局



北海道森林管理局長

着任あいさつ



新局長 上 練三



用のさらなる拡大など、進度の差はあれ、これらを一体的に推進することが現下の課題です。

折しも、輸入材不足に端を発する木材需給のひっ迫、木材価格の急上昇等の影響により、国産材供給に対する期待の高まりは顕著になっていきます。北海道内には、豊富な森林資源があります。私ども国有林は、木材供給においても一定の役割を担っており、計画的・安定的供給に努めてま

6月28日付けで、北海道森林管理局長を拝命しました上（かみ）です。初めての北海道勤務で、気候や森林の種類等あらゆることがこれまでに勤務経験した所とは異なりますので、早めに見聞きして状況を把握したいと考えております。

さて、林政全般におきましては、丸太の生産性アップ、造林初期のイノベーショナルによる低コスト化、国産材流通の効率化、木材利

用は、豊かな森林資源があります。私ども国有林は、木材供給においても一定の役割を担っており、計画的・安定的供給に努めてまいる考えです。

一方、近年の降雨状態等の変化は道内でも大きな被害につながっています。適切な治山対策等を講じ

るとともに、発生した場合には、地元自治体等と緊密に連携して、緊急対応並びに早期復旧に取り組んでまいります。

また、豊かな自然環境や森林生態系を有している北海道の特徴を永続的に維持していくことも当局の重要な使命です。希少種の動植物の保全・管理や景観の維持等に加えて、自然環境を適正に管理しながら、癒やしの場の提供、さらには、健康、観光、教育といった様々な場に森林空間を活かして新たな価値を創造していくことにも大きなポテンシャルがあることを認識しており、その構築にも貢献してまいります。

コロナ禍を機に、理想的なワークライフバランスを実現できる場として、地方に対する期待は高まっています。そうした変化は、地域がそこにある様々な資源を様々な形で価値に結びつける絶好の機会

と捉えることもできます。道内において、森林・林業・木材産業が重要な位置づけにあることは言うまでもありません。

私どもが、森林管理や林業の現場で培ってきた（培っていく）資源や技術力の活用を通じ、市町村行政を支援することによって、管内の森林・林業・木材産業が発展・持続するよう、貢献してまいります。

また、国産材利用が一層高まるよう、その意義・効果の普及とあらゆるツールによる働きかけを行います。

本誌をご覧いただき、ありがとうございます。引き続き、国有林野の管理経営にご理解・ご協力を賜るとともに、道内の安全・安心の暮らしと地域経済の発展に貢献できるよう、各般の取組を展開してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

● 略 歴 ● 出身地 鹿児島県

昭和 63 年 4 月	農林水産省入省（鹿児島大学卒業）
平成 9 年 8 月	名古屋営林支局 荘川営林署長
平成 21 年 12 月	林野庁林政部林政課広報官
平成 24 年 4 月	秋田県農林水産部森林技監
平成 26 年 4 月	林野庁森林整備部計画課首席森林計画官
平成 28 年 8 月	林野庁森林整備部研究指導課長
平成 30 年 4 月	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター審議役
平成 31 年 4 月	国立研究開発法人森林研究・整備機構理事
令和 3 年 7 月	中部森林管理局長
令和 4 年 6 月	北海道森林管理局長



美しい森お薦め国有林

然別自然休養林

十勝西部森林管理署 東大雪支署

【概要】

然別自然休養林は、鹿追町、土幌町、上土幌町の3町に跨がり、大雪山国立公園の南部に位置する然別湖を中心とする休養林です。エリア内には「然別火山群」と呼ばれる標高1,200m前後の山々と、かつて火山活動が川をせき止めて誕生した、標高810mと道内ではもっとも高い場所にある湖「然別湖」があります。

最終氷期と呼ばれる今より寒い時代に誕生した火山群には、岩のゴロゴロとした斜面が広がり、その周囲には夏でも冷たい風を吹き出す穴「風穴(ふうけつ)」と、地下には年中凍り続ける永久凍土の存在が確認されています。

エリア内には、このほか、火山の恵みである温泉や、今まさに形成されつつある三角州、道内三大秘湖として知られる「東雲湖(しのめこ)」など、この地ならではの地形や景観が広がっており、様々なCMやドラマの撮影などにも使われています。

【地名の由来】

北海道の地名の多くはアイヌ語に由来しており、その多くは、土地の地形の特徴や産物などを表します。

(語源には諸説があります)
鹿追町：アイヌ語で「クテクウシ」(鹿捕り柵のあるもの)
土幌町・上土幌町：アイヌ語で「シユウウオロ」(鍋を水に浸したところ)

【楽しみ方】

●登山：周辺の山は登山口から頂上までの標高差が400m前後。登山道の状態は様々ですが、比較的歩きやすく、短時間で登ることができ、自然観察をしながらゆっくり登りたい方や、登山初心者の方にもオススメです。



然別湖と周辺の山々

●カヌー・カヤック・ガイドツアー(有料)が実施されており、初心者の方でも安全に楽しむことができます。
●遊覧船：一周約40分かけて然別湖を回ります。モーターボートやナイトクルーズやナイトクルーズも人気です。

ルーズもお勧めです。(要予約)。他にも、ガイドツアー、キャンプ、釣り(期間限定)、足湯など様々な楽しみ方があります。



雪と氷で作られた村 然別湖コタン

【気候性と植生・野生生物】

冬はマイナス30度以下、夏でも5度近くまで下がることがあります。周りを囲む原生林には日本最古の永久凍土が作り出す特殊な自然環境があります。

また、「然別湖」は大雪山国立公園内で唯一の自然湖です。そこには湖が陸封されたことで独自の進化を遂げた、世界にはここしかないオシロココマ(ミヤバイワナ)が生息しています。周辺に広がる森には、エゾナキウサギなど貴重な動物が多数生息し、また、日本蘇苔学会により「日本の貴重なコケの森」にも

【アクセス】

選ばれています。

●公共交通機関の場合

- とち帯広空港↓JR帯広駅(バス約2時間30分)
- JR札幌駅↓JR帯広駅(約2時間30分)
- JR帯広駅バスターミナル

↓然別湖畔温泉

- バス約1時間40分)
- JR札幌駅↓JR新得駅から(バス約1時間20分)
- ↓然別湖畔温泉

●車の場合

- 道東自動車道 新千歳空港↓十勝清水IC↓然別湖(約180km、約2時間40分)
- 旭川空港↓然別湖(約180km、約2時間40分)
- 帯広・広尾自動車道、道東自動車道 とち帯広空港↓芽室IC↓然別湖(約90km、約1時間30分)
- JR札幌駅↓然別湖(約220km、約3時間20分)



エゾナキウサギ

「新しい林業」の展開に向けた取組

森林整備第一課



【新しい林業への取組】

令和3年6月に閣議決定された新たな森林・林業基本計画においては、2050年カーボンニュートラル達成を見据えた豊かな社会経済の実現のため、伐採から再造林、保育の収支をプラスにする「新しい林業」に向けて取り組むこととしています。

この「新しい林業」を着実に実現するためには、計画的に取組を推進していく必要があります。

このため、当課においては、令和4年度の重点取組事項の一つとして、「新しい林業の展開に向けた取組」を掲げ、①大型機械を用いたササ根系切断除去を伴う全面地拵、②大型機械等による機械下刈を可能とする低密度植栽、③低密度植栽地における重機等による下刈などについて、実証地を設定し試験及び検証に引き続き取り組むこととしています。

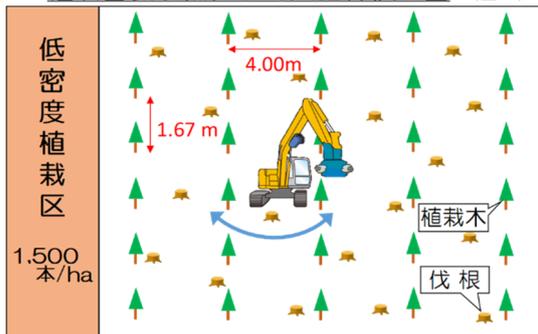
併せて、「生産事業と造林事業の一括発注」、「立木販売と造林請負の混合契約」に取り組むとともに、苗木については、コンテナ

苗による緩効性肥料施用苗や育苗期間短縮苗、大苗の試験的導入など、森林整備の省力化に引き続き取り組んでいきます。

【実証地の取り組み】

令和3年度より、造林事業の省力化・機械化の推進として、大型機械による下刈を可能とする新たな造林仕様を進めているところであります。大型機械で下刈をするためには、大型機械が造林地を走行できる植え方をしなければなりません。

植栽密度別機械下刈実証林模式図 (図1)



このことから、図1のように列間4m幅に設定した

仕様とし、haあたり1,500本の低密度植栽として実証地を造成しています。なお、樹種により異なりますが、現在の標準的な植栽密度はhaあたり2,500〜3,000本です。

今後、実証地における機械作業の効率化や低密度植栽の施業方法について検証を重ねつつ、造林の初期コストについても検証しながら、将来の低コストな森林整備として確立することを目指して取り組んでいきます。



【主伐・再造林増加への対応】

北海道における人工林資源は、本格的な利用期を迎

えており、また、ウッドシヨックやロシア・ウクライナ情勢などの海外情勢による影響で、輸入材の供給の見通しが不透明なことから、道産材の利用への期待が非常に高まっています。このため、原木の安定供給に併せ、伐採後における再造林の増加にも計画的に対応していく必要があります。省力化・機械化に加え苗木の確保に向け安定的な苗木の生産体制の確立に取り組んでいくところです。

【計画的な苗木生産への取組】

図2のように、出荷可能な苗木を作るには数年単位の長い期間が必要で、カラマツの普通苗で約3年、トドマツの普通苗で約5年、コンテナ苗では、それぞれ1年短縮可能になります。このため、苗木生産者は、何年後かの苗木の利用を見据え、さらに、苗木出荷可能となるまでの間に被害や十分な規格に達せず出荷できない苗木が出ることも想定し計画的に苗木を生産する必要があります。

◎苗木生産・育苗年数（普通苗の標準例）

（図2）

樹種	苗木使用者	苗木生産者				
	前年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
カラマツ	苗木需要見通し	種蒔き	育苗	出荷		
トドマツ		種蒔き	育苗	→		出荷

このため、計画的な苗木生産のためには、苗木を使用する側が、再造林に必要な苗木の見通しを正確に苗木生産者に提供することが必要です。

このことも踏まえ、北海道森林管理局では平成29年度より国有林で使用する

需給苗木の一部を「コンテナ苗の安定需給協定」の締結により、計画的な苗木確保に努めているところです。

「コンテナ苗の安定需給協定」は、カラマツ、トドマツ、クリンラーチの3樹種とし、今後必要とするコンテナ苗の需要見通しを踏まえて必要本数を公募し、苗木を生産可能な生産者からの応募をもって協定を締結しています。選定結果については北海道森林管理局のホームページにて公表しています。

北海道における苗木生産者においては、担い手不足等もあり苗木生産体制も厳しい状況にあることから、今後でもできる限り長期の苗木需要の見通しを示しながら、雇用の確保と安定的な苗木生産に努めてもらえよう取り組んでいく考えです。

【採種園の再整備】

苗木の需要量が増える中、苗木生産に必要な種子の確保も重要です。

より品質の良い種子の確保として、トドマツ、アカエゾマツについては主に国有採種園から、カラマツに

ついでには成長が良く種子が多く実っている国・道両方の林分から、クリンラーチについては主に道有採種園から採種しています。

今後、苗木を多く生産するためには、種子も多く必要になりますが、北海道にある採種園については、老木・高木化しており、種子の着果や採種が困難となってきたことから、国・道・民有林が連携して、計画的に採種園にある採種木の更新を図って行くことが重要になっていきます。

北海道における特定品種であるクリンラーチについては、成長が早く、二酸化素固定能力が高いことから、苗木の需要も高まっているところであり、日々増産に努められているところですが、まだ生産を始めて間もないことから種子の量も少ないため、元となる苗木を作り、そこから穂を採って挿し木にする増殖をしているところとあります。

また、その増産にあたっては、民間苗畑も「特定増殖事業者」として採種園を作って増産体制に入っているところとあります。

以上のように、「新しい林



コンテナ苗生産状況



普通苗生産状況

業」への取り組みにあたっては、省力化・機械化に取り組み、低密度植栽なども取り入れながら造林請負者への負担を軽減するほか、苗木についても、国・道・民有林が連携し、採種園の再整備も進めながら、安定的な確保に努めていくこと



採種園再整備の植栽



国有採種園（トドマツ）

で、北海道における持続可能な林業に向けた取り組みを進めていく考えです。

【空知森林管理署 北空知支署】 木造建築・我が署紹介！



入れ、地域の皆さんにも親しんでいただける潤いと温かみのある庁舎を目指しました。

構造は、豪雪対策として、屋根は切妻屋根、床は高床、庇（ひさし）を深くして、落雪の恐れのある部分は、あえて木質

空知森林管理署北空知支署は、石狩川支流の一級河川・雨竜川上流の日本のそばの里、幌加内町に所在しています。庁舎は、平成17年4月に落成し、今年で17年となりました。

建物の基本コンセプトは「豪雪と道北地方の木材！」

具体的には豪雪対策を基本とした設計と、庁舎周辺の自然に配慮した配色、更にバリアフリー仕様を取り



落雪から庁舎を守る列柱

材料の使用を避け、コンクリートの列柱を配置しました。

この列柱は当支署の執務室を保護する形で7本配置され、外見上の特色となっています。その他、外壁にはマツの羽目板を使用し、内部にはユニバーサルトイレを設置、スロープと併せてバリアフリーの建物となっています。



バリアフリーの玄関

主な木材は、トドマツ、エゾマツを始めとしてミズナラ、ヤチダモ、ウダイカンバなど道北地域で産出される木材をふんだんに使用しており、使用量は、構造材のトドマツ、エゾマツの大断面集成材等で約92㎡、外装材の、トドマツ、カラマツで約158㎡、内

装材は、カラマツ、ヤチダモ、ウダイカンバ、ミズナラ、アサダ、シナノキ、センノキの7種類を使用し約613㎡となっています。



支署長室

使用木材は、その特徴を生かし、支署長室は、ウダイカンバ、アサダ、センノキに囲まれた重厚な仕上げに、事務室及び会議室は、トドマツ、エゾマツの大断面構造用集成材の使用により天井が高く、開放感のある明るい造りとなっています。また、窓は全てキハダ、ヤチダモの木製サッシを使用し、内壁には、ウダイカンバ、シナノキ、ヤチダモの合板や羽目板を使用しミズナラの縁取りがアクセントになっています。



大断面集成材を使用した会議室

最後に、当支署のPRになります。管内は主に雨竜川沿いの深川市、幌加内町、沼田町、北竜町、雨竜町の1市4町にまたがる約67,000haの国有林を管理しています。

地域の主な産業は、水稲や蕎麦を主体とする農業で、農業用水を供給する朱鞠内湖等の多目的ダムが多く建設されています。その上流部に位置する国有林は水瓶として重要な役割を担っています。

今後とも季節の寒暖差約60度と3m越えの豪雪と共に、地域に密着した森林づくりと適切な管理・運営に努めて参ります。

こんにちは 森林官です!

根釧東部森林管理署
開陽森林事務所
森林官 秋吉 由佳



右端が開陽森林官

【地域の紹介】

開陽森林事務所は北海道の東側、根室振興局管内の中標津町に所在しており、北部に山岳地域、南部には平坦な根釧原野が広がっています。中標津町は酪農をはじめとした農業の盛んな地域です。また、中標津空港もあり、根室管内の玄関口となっています。積雪は少なく、一年を通して冷涼で過ごしやすい気候です。根釧原野には北海道遺産である幅180mの大規模な格子状防風林が広がっており、開陽台という観光スポットからその一部を眺めることができます。

【開陽森林事務所の概要】

開陽森林事務所は養老牛森林事務所、西春別森林事務所との合同森林事務所、中標津町の東側及び標津町の一部の防風林約1,700haと合わせて約10,700haの国有林を管轄しています。合同森林事務所では、3森林事務所がそれぞれ防風林を含んで構成されており、3名の森林官と

2名の非常勤職員で各種業務をおこなっています。

【格子状防風林】

広大な格子状防風林はその多くが防風保安林に指定され、地吹雪をはじめとする厳しい自然気象から人々を守っています。一方で、農地に対しては、高く成長した木々による枝の延伸や落枝、日照不足による農作物への影響等の問題もありません。



開陽台から見た格子状防風林

このような現状においても、未だに悠然と防風林が存在しているのは、地域の方々の長年にわたるご理解とご協力ゆえです。今日では、防風効果の発揮のみならず、森林の整備にとまなう木材供給に貢献している道内でも数少ない防風林となっています。



防風林から出材したカラマツ

防風林で伐採された木材の多くは中標津市街地の西端に位置する集合土場に運び込んで販売をおこなっています。集合土場は20,000m³の材を収容することができます。

また、防風林は野生動物の生息域にもなっています。巡視中、ガサガサと音がすることのない動物であることがわかったと胸をなで下ろします。

【最後に】
当事務所に赴任してまだ1年も経っていませんが、

様々なことを経験しています。森林事務所の勤務は初めてで、合同森林事務所5人のメンバーの中では最年少です。

経験年数も少ない森林官ですので、先輩方に囲まれて、知らないことや困ったことがあるたびに、助けてもらいながら仕事をしています。

また、先輩方のみならず、地域の方々にも支えられて業務をおこなっています。監督業務や、地域の方々の相談に向かったはずが、私の方がご指導いただくことばかりです。いただいた知見を今後に生かせるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。



防風林で見かけたイイズナ

・北の森カルタと木のおもちや展（開催中!!）

（2022年7月12日（火曜日）～2022年7月21日（木曜日））

詳しくは北海道森林管理局
ホームページをご覧ください。



2022・7・12 (TUE) - 7・21 (THU) 9:00 - 16:00

入場無料

子どもと遊べる木育コーナー
ままごとほうす、木の玉ブール 絵本...

北の森カルタと
木のおもちや展

●パネル（北の森カルタ・リーフアート）・北の森カルタ（大人用・子ども用）・森と緑の会カルタ・スロープイ（北海道旭川農業高等学校）・紙芝居・木のおもちや●

■林野庁 北海道森林管理局 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番 ☎011-622-5245（接納普及課）■

・森moriカフェ

（2022年7月22日（金曜日））

参加者には
プレゼント月

森林moriカフェ 2022/7/22 (F-T)
3F 大会議室

①子どもの部 17:30 - 18:20
②子どもの部 18:30 - 19:20
③大人の部 19:30 - 20:20

森林には山と水
木々の知られぬ奥深い
森林の世界を一緒に学びましょう！

北の森カルタもどければよ

・カルチャーナイト
（2022年7月22日（金曜日））

2022/7/22 (金)
17:00 - 20:30

入場・観覧ともに無料
予約不要

カルチャーナイト

①森林のカルタホド！
森moriカフェ
学び舎にはあそびが
あふれる

②カルチャーナイトとは？
北海道庁が主催する、自然や環境の魅力を伝える、市民参加型のイベントです。市民参加型のイベントです。市民参加型のイベントです。

③リーフアート
森林の魅力を表現するためのアート。実践するだけでなく、学びや交流の場としても活用されています。

④お楽しみ会
お楽しみ会やゲームなど、好評な企画をご用意しています。

⑤コースター作り
木のぬくもりを感じながら自由なデザインでコースターを作ります。

⑥紙芝居
木のぬくもりを感じながら自由なデザインで紙芝居を作ります。

もり
広報 「北の森林 国有林」7月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
I P 電話 050-3160-6300
電話 011-622-5213
F A X 011-622-5194
<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

今月の木 「カラマツ」
夏には丸みのある
「まつぼっくり」をつけます。

カラマツのイラストを
表紙の月数字に載せました。

今月の表紙